

おすすめ機能

番組表でTV番組を選べる

テレビ視聴中に画面をタッチ！番組表からお気に入りの番組を選べます。



ドライブ中に放送エリアが変わっても、近くの放送局をナビがキャッチ

遠出のドライブ中にテレビ局の放送エリアを離れ、映像が映りにくくなったら、「おでかけ」モード (P.90) に。受信状態のよい中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。

HDD MUSICがラジオ番組風に！

CN-HX900D

HDD MUSICに録音した音楽が、ラジオ番組を聴くように楽しめる「Music Stylist」 (P.69)。

録音時に曲調解析したテンポやリズムなどの情報や年代・カテゴリーの情報を基に、DJが季節や場所・時間に合わせて、おすすめの選曲とトークで楽しませてくれます。



DJ.TOGGY DJ.LILY

63 ページ

いろいろな方法で音楽を楽しむ

- CD MP3 / WMA を再生する
- HDD に録音した音楽を聴く
- BLUETOOTH オーディオを聴く **CN-TX000D CN-TS000D**
- iPod を聴く

86 映像を楽しむ

- 地上デジタルTVを見る
- データ放送を見る
- 緊急警報放送 (EWS) を見る
- DVD を楽しむ
- 保存した静止画を演出する
「スナップエフェクター」

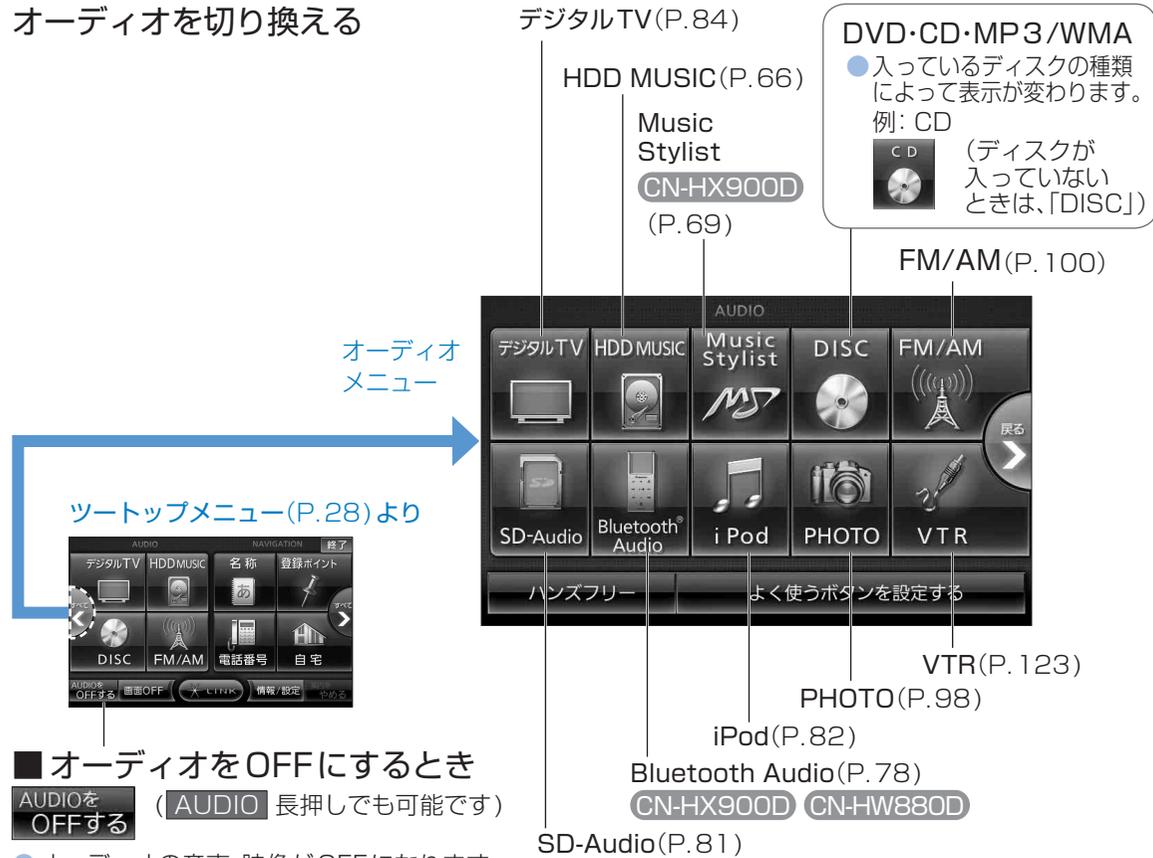
100 ラジオを聴く

- 自車位置の地域に応じて放送局を選ぶ
「エリアモード」

101 交通情報を聴く



オーディオを切り換える



■ **オーディオをOFFにするとき**
AUDIOをOFFする (**AUDIO** 長押しでも可能です)
 ●オーディオの音声・映像がOFFになります。

■ **再度オーディオをONにするとき**
AUDIOをONする

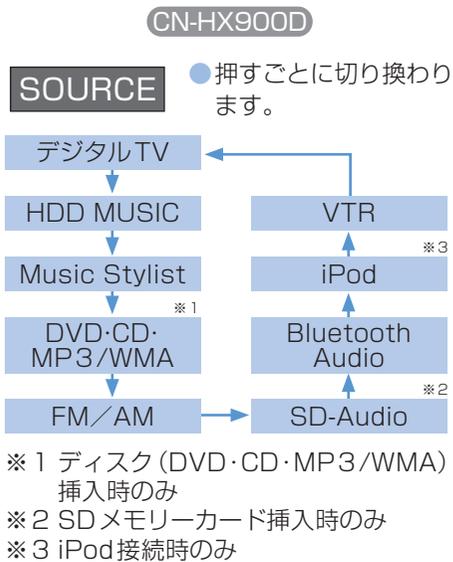
オーディオからナビゲーションの画面に切り換えるとき

オーディオ画面表示中に **現在地** を押す。
 (リモコン→「現在地」)
 ●オーディオの音は、出たままになります。ナビゲーションの音声・映像のみ出力したいときは、オーディオをOFFにする。(上記)
 ●ナビゲーション画面でオーディオの動作状態を確認するときは、リモコンの「DISPLAY」を押す。動作状態を消去するときは、再度、リモコンの「DISPLAY」を押す。
 ●ナビゲーション画面表示中にオーディオ画面に戻るには、**AUDIO** を押してください。

お知らせ

●ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、オーディオを切り換えたり、オーディオをOFFにすることができません。
CN-HX900D **CN-HW880D**

本体ボタンで選ぶとき



「再生できるディスク」(P.148)を、よくお読みください。

オーディオメニューから (P.62)



CDの基本操作

CD再生画面

録音を開始する/中止する※4



曲のリストを表示
 CD設定画面を表示

曲を頭出し(リモコン→「◀」「▶」)
 ●タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「◀」「▶」押し続ける)

※4 デジタル録音モード(P.65)が「SELECT」のときのみ表示。

CDタイトル表示について

音楽CDを入れると、本機内の音楽データベース(Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- データベースに一致する情報がない場合、異なるタイトル情報を表示することがあります。そのまま本機のHDDに録音した場合は、手動で入力しなおしてください。(P.72)
- CD-TEXT情報があるCDを入れた場合、データベースに情報があってもCD-TEXT情報を優先してタイトル表示します。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 音楽CDを入れると、自動的に本機のHDDにAACファイル形式で録音されます。(P.65「CDダイレクト録音」)
- 自動的に録音しないようにするにはデジタル録音モードを「SELECT」に設定してください。(P.65)
- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。CDの画面に切り換えるには、**AUDIO** を押してください。

オーディオメニューから (P.62)



MP3/WMAの基本操作

MP3/WMA再生画面

曲情報/フォルダ情報を表示



選曲方法を選んで再生
 MP3/WMA設定画面を表示

曲を頭出し(リモコン→「◀」「▶」)
 ●タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「◀」「▶」押し続ける)

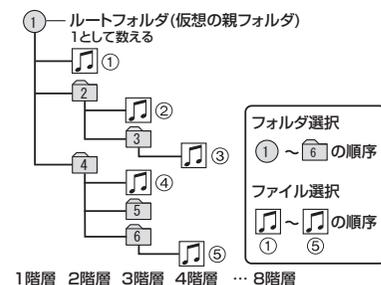
MP3/WMAタイトル表示について

- 挿入したディスクにMP3/WMAのタグ情報がある場合は、**曲情報**を選んでアーティスト名・曲名などを表示できます。
- Gracenote音楽認識サービスを利用したアルバム名・曲名などの検索表示はできません。

MP3/WMAファイルの再生について

- MP3/WMAファイルが入ったフォルダのみ表示されます。
- ライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)により異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせにより、正常な再生や文字の表示ができない場合があります。

階層と再生順序のイメージ(例)



お知らせ

- HDDへの録音はできません。
- ナビゲーション画面表示中にCD-Rを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。MP3/WMAの画面に切り換えるには、**AUDIO** を押してください。

CD再生画面またはMP3/WMAの再生画面から (P.63)

リストから曲を選ぶ	CD	<ol style="list-style-type: none"> 1 選曲する 2 曲を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ曲が再生されます。 ● 録音済みの曲には、HDDが表示されます。 ● 再生中の曲は橙色で表示されます。
	MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 選曲する 2 選曲方法を選ぶ 3 再生したいフォルダの再生▶ 4 曲を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● [再生中リスト] 再生中のフォルダの曲リストを表示 (手順4へ) ● [フォルダ] フォルダ選択画面を表示 (手順3へ) ● フォルダの先頭から再生されます。 ● 再生中のフォルダは橙色で表示されます。 ● フォルダをタッチすると、選んだフォルダの曲リストが表示されます。 (手順4へ) ● 選んだ曲が再生されます。 ● 再生中の曲は橙色で表示されます。
	CD・MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 設定 2 再生する条件を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● CD設定画面またはMP3/WMA設定画面が表示されます。 ● 条件は1つしか選べません。 <p>繰り返し再生する (リピート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲を繰り返し再生 [すべて] ● 再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生 [フォルダ] (MP3/WMAのみ) ● 再生中の曲を繰り返し再生 [1曲] <p>順不同に再生する (ランダム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲を順不同に再生 [すべて] ● 再生中のフォルダ内の曲を順不同に再生 [フォルダ] (MP3/WMAのみ) <p>曲を探す (スキャン) 各曲を約10秒ずつ再生。(一周すると元の曲の先頭から通常再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全曲をスキャン [すべて] (CDの場合) ● フォルダの先頭の曲のみスキャン [すべて] (MP3/WMAの場合) ● 再生中のフォルダ内の曲をスキャン [フォルダ内] (MP3/WMAのみ)
	MP3/WMA	<ol style="list-style-type: none"> 1 曲情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 曲情報を表示。 ● フォルダ情報表示に戻るとき [情報]

録音方法を選ぶ (デジタル録音モード)

CD設定画面から (P.64)

- 1 録音方法を選ぶ
 - 自動的に全曲を録音するとき **[AUTO]**
 - 曲を選んで録音するとき **[SELECT]** (太字はお買い上げ時の設定です)

自動的に音楽CDの全曲を録音する (CDダイレクト録音)

準備: デジタル録音モードを「AUTO」に設定する。

- 1 CDを入れる
 - 自動的に録音を開始。
 - 録音状態表示について
 - REC** (赤): 録音中
 - REC** (灰): 録音準備中
 - WAIT** *: 録音データ解析中のため、録音一時停止中
 - 表示なし: 録音していない
 - リスト表示中、録音済みの曲には、**HDD**が表示されます。
- CD設定画面 (P.64) で、**[SELECT]**を押すことで録音を中止できます。
- ※ 録音後に録音データの曲調解析 (P.67)を行うため、連続でCDを録音する場合、解析状況により **[WAIT]**と表示され録音を一時停止することがあります。解析状況を確認してください。(P.68)

曲を選んで録音する (手動録音)

準備: デジタル録音モードを「SELECT」に設定する。

- 1 CDを入れ、録音
 - 2 リストから曲を選び、完了
 - **[完了]** (リモコン→「ビュー」)
 - 選んだ曲の録音を開始。
 - 複数の曲を選ぶこともできます。(もう一度選ぶと、解除)
 - 全曲選ぶとき **[全選択]** (リモコン→「青」)
 - 全曲解除するとき **[全解除]** (リモコン→「赤」)
- 録音中に、録音を中止するとき **[録音中止]**

音楽CDの録音について

- 本機の動作状態に応じて、約3倍速から最大約7倍速で録音されます。
- AACファイルに変換され、HDDに保存されます。
- アルバム/曲の情報は、Gracenoteデータベースから検索して保存されます。
- ナビゲーション画面表示中は、地図上に録音状態 (**[REC]**)が表示されます。
- CD-TEXT情報のある音楽CDを録音しても、CD-TEXT情報は保存されません。
- MP3/WMAファイルは、本機に録音できません。
- SDメモリーカードからは、MP3/WMAファイルを保存することができます。(P.124)
- 録音された音楽データが正しく再生されない(音飛びする)場合などは、いったん音楽データを消去 (P.73)してから、再度録音してください。
- 保存(録音)した音楽データは、著作権保護のため、バックアップを取ることはできません。
- 録音に関する制限事項は (P.153)

本機のHDD(ハードディスク)に保存した音楽データを使って、いろいろな再生ができます。

オーディオメニューから (P.62)

HDD MUSICの基本操作

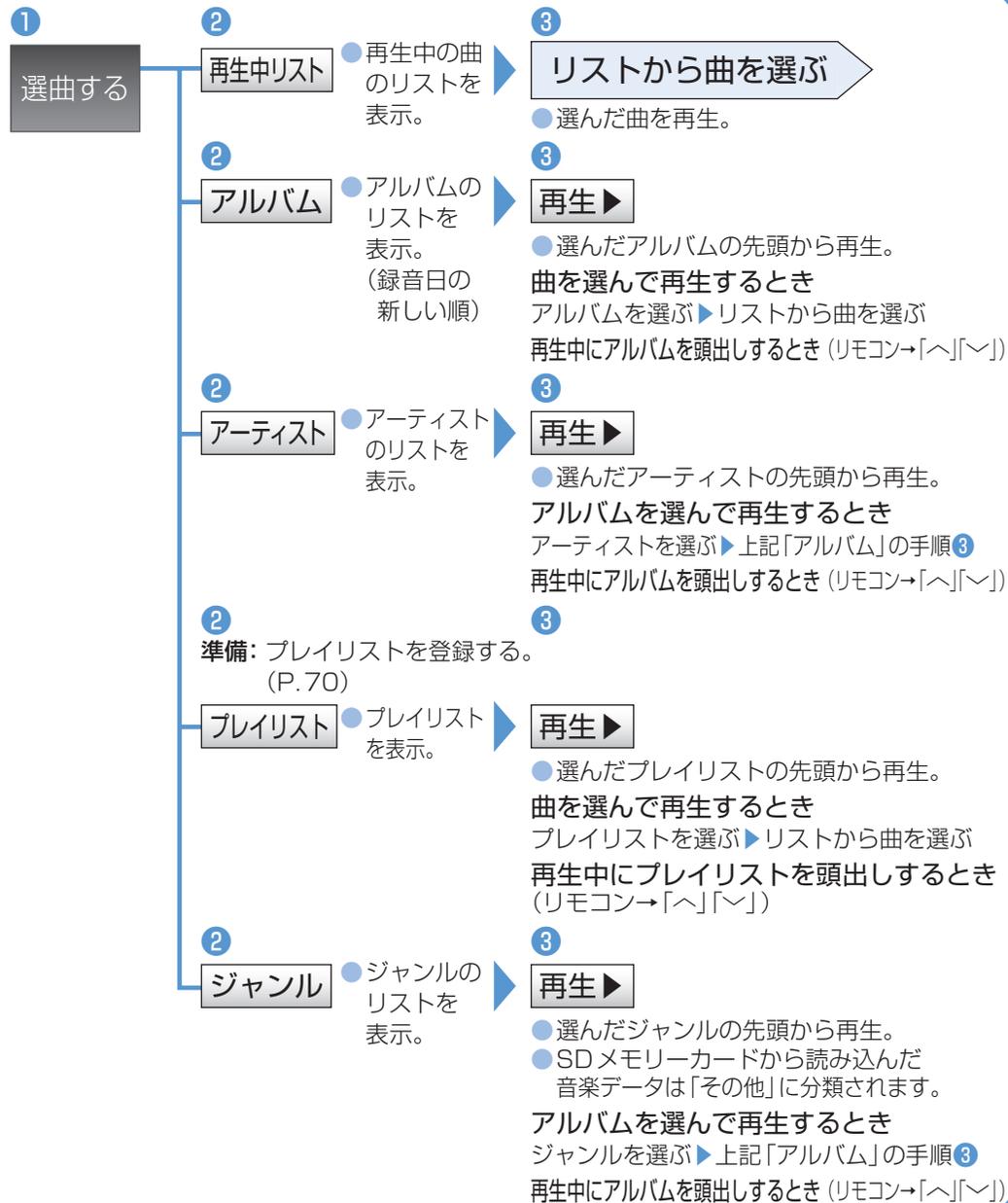
HDD MUSIC 再生画面

再生中の曲のリストを表示
選曲方法を選んで再生

- 解析状況 録音データの解析状況を確認 (P.68)
- Snap Effector スナップエフェクターを再生 (P.77)
- お気に入り登録 お気に入りに登録するとき (P.67、70)
- 設定 HDD MUSIC設定画面を表示 (P.70)

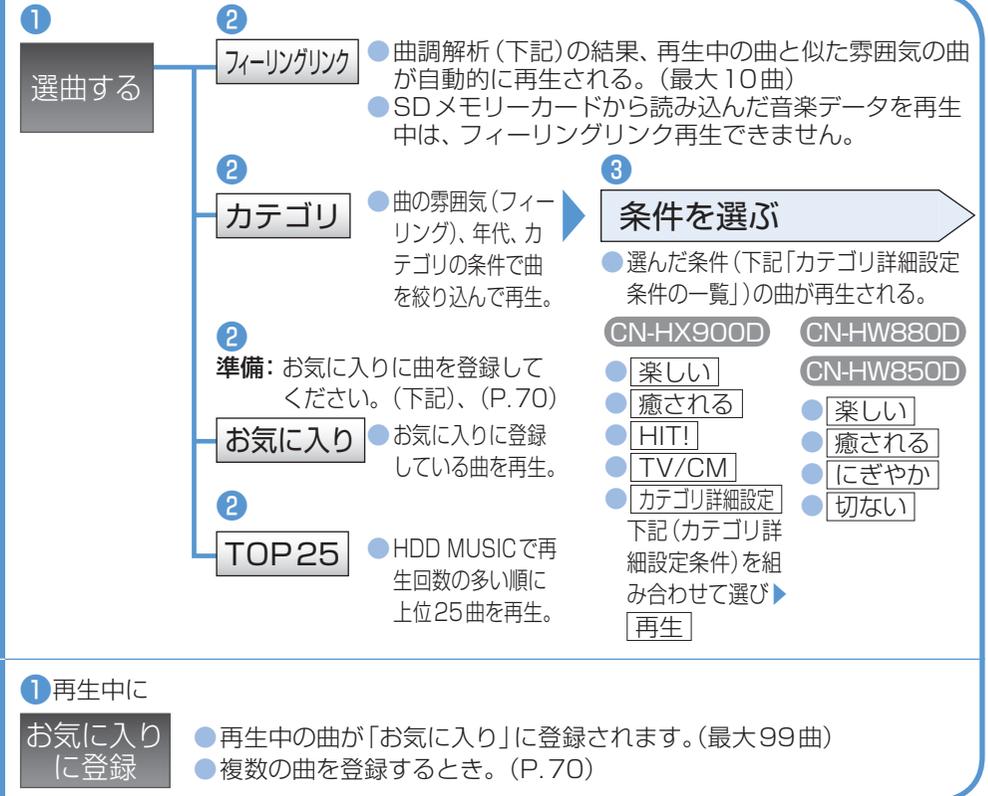
曲を頭出し(リモコン→「◀」「▶」)
●タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「◀」「▶」押し続ける)

選曲方法を選んで再生する



選曲方法を選んで再生する

お気に入りに登録する



曲調解析について

- HDDに曲を録音する際、サビ部分のテンポやリズムなどから曲の印象を自動的に解析します。
- 解析結果は、お客様の主観とは異なる場合があります。
- 解析結果は、編集できません。
- 曲調解析には、ミュージックソムリエ技術*1を使用しています。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは曲調解析されません。

*1 ミュージックソムリエ技術とは、ワインを選ぶソムリエのように、そのときのフィーリングに合った曲を選ぶ音楽選曲インターフェース技術です。 **Musicsommelier**

カテゴリ詳細設定条件の一覧 (CN-HX900D)

項目	内容	
フィーリング	楽しい	楽しい感じの曲
	にぎやか	にぎやかな感じの曲
	癒される	癒される感じの曲
	切ない	切ない感じの曲
	しない	指定しない
年代	70年代	70年代までの曲
	80年代	80年代の曲
	90年代	90年代の曲
	00年代	2000年以降の曲
	しない	指定しない
カテゴリ	TV/CM	CMやドラマ主題歌などで使われた曲
	LOVE SONGS	ラブソング
	レジャー	季節に合わせた曲
	HIT!	ヒットした曲
	しない	指定しない

お知らせ

- 「フィーリングリンク」では、SDメモリーカードから読み込んだデータ(P.124)は選曲対象になりません。
- 「フィーリング」は曲調解析(左記)の結果を、「年代」「カテゴリ」はMCDB情報(編集不可)を元にしてしています。
- 以下の音楽データは、カテゴリ再生されません。
 - ・SDメモリーカードから読み込んだもの(P.124)
 - ・MCDB情報(年代/カテゴリ)がないもの(CN-HX900Dのみ)
 - ・「カテゴリ再生、Music Stylist*2で選曲」(P.72)が「しない」に設定されている
- ※2 Music StylistはCN-HX900Dのみ
- 「TOP25」では、再生回数が同じ場合、録音が古い曲を優先して登録、再生します。
- 「TOP25」では、曲の4割を再生した場合に1回の再生と数えます。(サビキャン(P.68)、ちょい聴き(P.71)での再生は除く)
- 「TOP25」での再生中は、再生順が更新されません。(次回「TOP25」を選んだときに更新)
- 「TOP25」では、録音曲が少ない場合、再生回数が0回の曲も再生されます。

オーディオメニューから
(P.62)

条件を選んで再生する(リピート/ランダム/スキャン)

①

設定

②

再生する条件を選ぶ

- 再生条件は選曲方法によって異なります。
- 条件は1つしか選べません。

繰り返し再生する(リピート)

- 全曲を繰り返し再生 **すべて**
- 再生中の曲を繰り返し再生 **1曲**
- 再生中のアルバムの曲を繰り返し再生 **アルバム**
- 再生中のプレイリストの曲を繰り返し再生 **プレイリスト**

順不同に再生する(ランダム)

選曲方法がフィーリングリンク・カテゴリ再生の場合はランダム再生できません。

- 全曲を順不同に再生 **すべて**
- 再生中のアルバムの曲を順不同に再生 **アルバム**
- 再生中のプレイリストの曲を順不同に再生 **プレイリスト**

曲を探す(スキャン)

各曲のサビ部分を再生し、1周すると、元の曲の先頭に戻ります。(サビスキャン)

- 再生中のアルバムの曲をスキャン **アルバム**
- 再生中のプレイリストの曲をスキャン **プレイリスト**
- サビ部分は、曲調解析(P.67)により決まるため、サビ以外の部分が再生されることもあります。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは、曲の先頭から再生されます。
- サビスキャンの再生時間を設定するとき(P.77)

解析状況

- 録音データの曲調解析(P.67)の状況が確認できます。
- 解析が終了すると、録音データを再生できます。
- 解析中の録音データがCD3枚分表示されているときは、新たに録音できません。CD1枚分の空きができるまでお待ちください。
- SDメモリーカードから保存した音楽データ(MP3/WMA)は、曲調解析されません。

録音データの解析状況を確認する

CN-HX900D

季節・場所・時間などに合わせて、ぴったりの曲をHDD MUSICから自動的に10曲選び、トークを交えつつ、ラジオの音楽番組のような雰囲気再生します。

オーディオメニューから(P.62)

Music Stylistの基本操作
Music Stylist再生画面

- 曲を頭出し(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」押し続ける)

スナップエフェクターを再生(P.77)

お知らせ

- 10曲すべての再生が終了すると、再度曲を選び直して再生します。
- 録音されている曲が10曲未満の場合は、オープニングトークのみ行われます。
- トーク中に電源を切って再度電源を入れた場合は、途中のトークは再生せずに次の曲を再生します。
- 以下の音楽データは、Music Stylistでは再生されません。
 - ・MCDB情報(年代/カテゴリ)がない
 - ・「カテゴリ再生、Music Stylistで選曲」(P.72)が「しない」に設定されている
- 次のオープニングトークが始まると、それ以前の曲への頭出しはできません。
- 一度再生したトークへ頭出ししたとき、前回再生時とトーク内容が異なる場合があります。

Music Stylistの再生例

●オープニング



グッドモーニング! DJのTOGGYです。それでは、今朝はこの曲からスタート!

トークに連動しておすすめの曲が再生される。

●中締めトーク



こんな曲はいかがでしょう? Enjoy this track!

トークに連動しておすすめの曲が再生される。

●エンディング



早いもので、あと4曲でお別れです。お相手はTOGGYでした。ではまた!

トークに連動しておすすめの曲が再生される。

●次のオープニング



ミュージックスタイルリストDJのLILYです。暑中お見舞い申し上げます。

トークに連動しておすすめの曲が再生される。

プレイリストを編集する

HDDに保存した曲の中からプレイリスト（あなたが選んだ曲の組み合わせ）を編集できます。

オーディオメニューから
(P.62)



設定

HDD MUSIC 設定画面

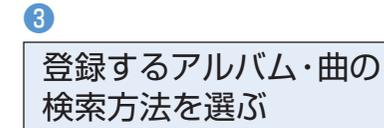


プレイリストを作成する

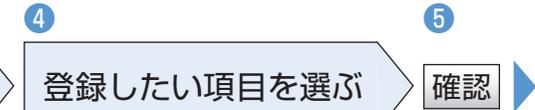


お知らせ

- プレイリストは、最大98個作成できます。
(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)



- アーティスト名をリスト表示するとき
[アーティスト順]
- アルバムを録音日の新しい順にリスト表示するとき [新しい順]
- ジャンルをリスト表示するとき
[ジャンル順]

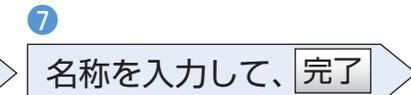


- アーティスト/アルバム/ジャンルの[すべて]を選ぶと、選んだ項目の全曲が登録候補として追加されます。
サビを試聴するとき(ちよい聴き)
[サビ]
- 下の階層を表示するとき
アーティスト/アルバム/ジャンルを選ぶ

- (リモコン→「ビュー」)
- 他にもプレイリストに登録したい曲がある場合は、[戻る]で手順③まで戻って曲を追加してください。



- (リモコン→「ビュー」)
- 曲を登録候補から解除したいとき
曲を選ぶ ▶ [はい]
- 登録候補をすべて解除するとき
[全解除] (リモコン→「青」)



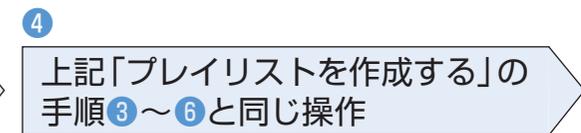
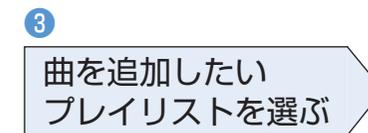
- 全角16文字(半角32文字)まで。
- 文字入力のしかた (P.23)
- 名称を入力しないで [完了] を選ぶと、作成した年・月・日・時間が自動的に付与されます。
例:「マイベスト2009.07.15/0903」

プレイリストやお気に入りの曲を追加する



お知らせ

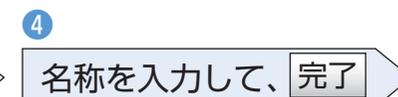
- プレイリストは、最大98個作成できます。
(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)



プレイリストの名称を変更する



- お気に入りの名称は変更できません。



- 全角16文字(半角32文字)まで。
- 文字入力のしかた (P.23)

プレイリストやお気に入りの曲を消去する



- [消去] (リモコン→「ビュー」)
- 複数のプレイリストも選べます。(もう一度選ぶと解除)
- 全プレイリストを選ぶとき [全選択]
- (リモコン→「青」)
- 曲を選んで消去するとき
プレイリストを選ばずに [消去] ▶ リストから曲を選び、[消去]

お知らせ

- CD録音中および曲調解析中は消去できません。
- プレイリスト内の全曲を選ぶと、そのプレイリストも消去されます。
- プレイリストやお気に入りから曲を消去しても、アルバムからは消去されません。

アルバム/曲の情報を編集する

アルバム名や曲名、アーティスト名などを編集できます。

HDD MUSIC 設定画面から
(P.70)

1 名称の編集

2 編集したいアルバムを探す

・アーティスト名から探す

[アーティスト順] ▶

・アーティストを選ぶ

・アルバムから探す

(録音日の新しい順)

[新しい順]

・ジャンルから探す

[ジャンル順] ▶

ジャンルを選ぶ

3 編集したいアルバム/曲を選ぶ



- アルバムを選ぶとき
- 曲を選ぶとき (表示されるリストから選ぶ)

お知らせ

- 手で文字・数字入力して更新したアルバム・曲の情報は、Gracenote データベースには反映されません。(同じCDを入れても、手で入力した内容は反映されません)

※1 全角16文字(半角32文字)まで。

※2 半角32文字まで。

※3 以下の準備が必要です。

1. Bluetooth対応の携帯電話を登録する(P.106)
2. プロバイダを設定する(P.112)
3. 携帯電話をダイヤルアップ接続待機状態にする

※4 Music Stylistは

CN-HX900Dのみ

※5 音声認識機能では、この読みで曲を検索できます。(P.121)
(CN-HX900Dのみ)

アルバムの情報を編集する

アルバムの名称を変更	1 編集 ▶	2 アルバム名を入力し、完了 ▶ ※1	3 完了 ▶
アーティストの名称を変更	1 編集 ▶	2 変更方法を選ぶ ● マニュアル入力する ▶ アーティスト名を入力し、完了 ▶ ● リストから選択する ▶ リストからアーティストを選ぶ	3 完了 ▶
アーティスト名の読みを変更	1 編集 ▶	2 アーティスト名を入力し、完了 ▶ ※2	3 完了 ▶
ジャンルを変更	1 編集 ▶	2 アルバムのジャンルを選ぶ	3 完了 ▶
カテゴリ再生、Music Stylist*4で選曲の対象にする	1 する / しないを選ぶ		2 完了 ▶
Gracenote データベースを使ってアルバム情報を変更	1 取得方法を選ぶ ● HDD内のデータベースから再取得するとき [内蔵データベース検索] ● 新譜などデータベースにない情報をインターネット経由で取得するとき(P.76)*3 [オンライン検索] ▶ [接続する] CN-HX900D CN-HW880D		2 登録 ▶
			3 完了 ▶

変更を反映する範囲を選ぶ

- アルバム内の全曲 [全トラックに反映]
- アルバムのみ [アルバムのみ]

手順①で検索結果が複数あるとき
アルバムを選び、[登録]

● SDメモリーカードから読み込んだ音楽データのアルバム情報は取得できません。

曲の情報を編集する

トラック(曲)の名称を変更	1 編集 ▶	2 曲名を入力し、完了 ▶ ※1	3 完了 ▶
アーティストの名称を変更	1 編集 ▶	2 入力方法を選ぶ ● マニュアル入力する ▶ アーティスト名を入力し、完了 ▶ ● リストから選択する ▶ リストから選ぶ	3 完了 ▶
アーティスト名の読みを変更*5	1 編集 ▶	2 アーティスト名を入力し、完了 ▶ ※2	3 完了 ▶
アーティストの愛称読みを変更*5	1 編集 ▶	2 アーティストの愛称を入力し、完了 ▶ ※2	3 完了 ▶
			4 変更を反映する範囲を選ぶ
			完了 ▶
ジャンルを変更	1 編集 ▶	2 曲のジャンルを選ぶ	3 完了 ▶

- アルバム内の全曲 [全トラックに反映]
- 編集曲のみ [編集曲のトラックのみ]

HDD MUSIC 設定画面から (P.70)

アルバム/曲を消去する

- いったん消去すると、元に戻せません。消去は、慎重に行ってください。
- 消去中は、エンジンを切らないでください。本機が正しく動作しなくなるおそれがあります。

- 1 消去 ▶
- 2 消去したい項目を探す
● アーティスト名から探す [アーティスト順]
● アルバムから探す [新しい順]
● ジャンルから [ジャンル順]
● HDD内の全曲 [全消去] (手順④へ)

- 3 消去したい項目を選び、消去 ▶
- 4 はい ▶

(カーソルの移動: リモコン→「▲」「▼」、
決定: リモコン→「決定」)

[消去] (リモコン→「ビュー」)

- 複数の項目を選ぶこともできます。(もう一度選ぶと解除)

現在検索したリスト内の項目を全て選ぶとき

[全選択] (リモコン→「青」)

下の階層を表示するとき (項目未選択のときのみ)

お知らせ

- 消去した曲がプレイリスト(P.70)やお気に入り(P.67)にも登録されている場合は、プレイリストやお気に入りからも消去されます。
- CD録音中や曲調解析中は消去できません。

本機のGracenoteデータベースにないタイトルの情報を、パソコンのタイトル検索ソフトを使ってGracenoteサーバーにアクセスし、取得できます。

■ タイトル検索ソフトの動作環境

- OS:
Windows® 98SE/Windows® Me/
Windows® 2000 Professional
Service Pack 4/Windows® XP
(Home/Professional) Service
Pack 2/Windows Vista®
(Ultimate/Business/Home
Basic/Home Premium)
- CPU:
Intel MMX Pentium 266 MHz
以上
(推奨Pentium II 300 MHz以上)
- メモリ:
64 MB以上(推奨128 MB以上)
- HDD:
200MB以上の空き容量
- インターネット接続環境:
推奨64 Kbps以上
- ディスプレイ/ビデオボード:
解像度 推奨800×600ピクセル、
表示色 推奨65000色以上
- その他:
SDメモリーカードリーダー/ラ
イターと、空き容量が4MB以上
のSDメモリーカード
が別途必要です。

お知らせ

- タイトル検索ソフトは、必ず本機のPCツール出力で保存されるTitleFinderVer2.exeを使用してください。
- 「PCツール出力」(右記)時に保存されるテキストファイル(README.TXT)も併せてご覧ください。

タイトル検索ソフトをパソコンにインストールする

本機側

準備: SDメモリーカードを本機に入れる
SDメモリーカード画面から(P.124)

- 1 SDメモリーカードへ保存する
- SDメモリーカード保存画面を表示。

パソコン側

準備: タイトル検索ソフトの入ったSDメモリーカードをパソコンに入れる

- 1 SDメモリーカード内の情報を任意のフォルダにコピーする
- タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)は、必ず同じフォルダに保存する。
 - 初めての場合は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンする。(Windows Vista®では管理者権限がなくても利用可能)

- 2 PCツール出力

- SDメモリーカードには、タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)、テキストファイル(README.TXT)が保存される。出力先フォルダ: PRIVATE¥CustomUDT

- 2 コピーしたソフトのアイコンをダブルクリックする
 - 3 「接続設定」
 - 4 インターネット接続の設定をする*
 - 5 「設定」
- 設定が保存される。
- ※ブラウザが
- Internet Explorerのときは、「Internet Explorerの設定を使用する」をチェックする。
 - Internet Explorer以外のときでは、チェックを外し、各項目を設定する。
 - ・「LAN接続を使用」時は、チェックのみ
 - ・「ダイヤルアップ接続を使用」時は、チェックの後、接続先を選ぶ。(「タイトル取得の完了時に回線を自動で切断」をチェックすると、回線は取得後、自動切断される。)
 - ・「プロキシサーバーを使用」時は、チェックの後、サーバーのアドレスとポート番号を入力する。
 - ・接続設定のお問い合わせは、ご契約のプロバイダへ。

本機のタイトル情報をSDメモリーカードに書き出す

本機側

準備: SDメモリーカードを本機に入れる
SDメモリーカード保存画面から(上記)

- 1 録音曲タイトル取得
- PCツールを一度も出力していないとき出力確認画面が表示される▶確認
- PCツールがSDメモリーカードに保存される。

- 2 タイトル情報を取得したいアルバムを選び、「完了」
 - 3 はい
- 完了 (リモコン→「ビュー」)
- 複数のアルバムも選べます。(もう一度選ぶと解除)
- 選択を全解除するとき 全て解除 (リモコン→「青」)
タイトル未付与のアルバムすべてを選ぶとき
タイトル無し全選択 (リモコン→「赤」)
- SDメモリーカードに取得するための情報が保存される。(ファイル名: export.dat)
出力先フォルダ:
PRIVATE¥CustomUDT

Gracenoteサーバーからタイトル情報を取得する

パソコン側

準備: タイトル検索ソフトの入ったSDメモリーカードをパソコンに入れる

- 1 パソコンのタイトル検索ソフトを起動し、「参照」

- 2 SDメモリーカードに保存した「export.dat」を選び、「開く」
 - 3 「Fileからデータベース検索」
 - 4 アルバムの情報が複数ある場合のみ
 - 5 アルバム名を選び、「選択」
- 「保存」
- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続の確認画面で、接続先・ユーザー名・パスワードを入力する。
 - 「export.dat」と同じ階層に、取得したタイトル情報が保存される。(ファイル名: import.dat)
 - SDメモリーカードの「PRIVATE ¥CustomUDT」以外のフォルダに保存すると、タイトル情報を付与できません。
 - 「export.dat」ファイルを取得したナビゲーションでデータを更新してください。別のナビゲーションにそのデータを保存しても利用できません。

取得したタイトル情報を本機に保存する

本機側

準備: 取得したタイトル情報の入ったSDメモリーカードを本機に入れる。

- 1 SDメモリーカード画面から(P.124)
 - 2 SDメモリーカードから読み込む
 - 3 Gracenoteデータベース更新
 - 4 はい
- 本機のGracenoteデータベースが更新され、自動的にタイトル情報が付与される。

タイトル情報を取得する

パソコンにインストールしたタイトル検索ソフト(P.74)を使って、お持ちのCDからタイトル情報を取得できます。取得したタイトル情報を本機に登録すると、CDを録音する際に、タイトル情報を付与できます。

CDから

パソコン側

準備: 1. SDメモリーカードをパソコンに入れる。
2. タイトル情報を取得したいCDをパソコンに入れる。

- ① パソコンのタイトル検索ソフトを起動する
- ② CDを入れたドライブを選ぶ
- ③ 「CDからデータベース検索」を選ぶ
- ④ 複数の候補があるとき
アルバム名を選び、「選択」を選ぶ
- ⑤ ダウンロードが完了したら
- ⑥ 「保存」を選ぶ
タイトル情報の保存先を選び、「OK」を選ぶ
●必ず、SDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」フォルダに保存してください。

本機側

- ⑦ 「取得したタイトル情報を本機に保存する」(P.74)

新譜などのアルバム情報がない音楽データに、インターネット経由でタイトル情報が付与できます。

- 準備:
1. Bluetooth対応の携帯電話を登録する。(P.106)
 2. プロバイダを設定する。(P.112)
 3. 携帯電話をダイヤルアップ接続待機状態にする。

インターネットから
(オンライン検索)

インターネットから

HDD MUSIC 設定画面から (P.70)

- ① P.72 手順1~2を行う
- ② 情報を付与するアルバムを選ぶ
- ③ オンライン検索
- ④ 接続する
●インターネットに接続し、タイトル検索を開始。
- ⑤ 複数の候補があるとき
- ⑥ リストからアルバムを選ぶ
登録

CN-HX900D
CN-HW880D

いろいろな効果を使う

(太字はお買い上げ時の設定です)

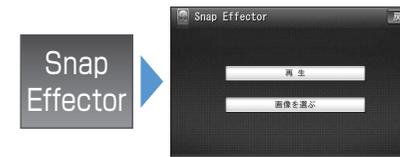
■ スナップエフェクター

CN-HX900D

本機に録音した曲のテンポや曲調に合わせて、保存されている静止画を再生します。

準備: 静止画データを保存してください。(P.98)

HDD MUSIC 再生画面 (P.66)/
Music Stylist 再生画面から (P.69)



お知らせ

- 再生中に表示される曲名やアーティスト名は、一部表示されない場合があります。
- 電源を切ったり、オーディオを切り換えるとスナップエフェクターは終了します。

HDD MUSIC 設定画面から (P.70)

詳細設定



■ クロスフェードとは

前の曲の最後と次の曲の最初の部分を重ね合わせて、スムーズに曲を再生します。

■ 録音曲再生レベル自動調整とは

録音したCDの音が小さい場合に、音量を大きく調整して再生します。

お知らせ

- 録音するCDに記録されている音が大きい場合には、小さく調整されません。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは調整されません。

再生する

再生する

- ① 再生
●終了するときには、画面をタッチする。

再生する
静止画を
設定する

- ① 画像を選ぶ
- ② 設定項目を選ぶ

手順②の設定項目

- サンプル** 本機にあらかじめ保存されている静止画のみを順不同に表示。
- ランダム** 保存したすべての静止画を順不同に表示。
- 新しいフォルダ** 作成日の新しいフォルダから順に表示。
- 指定フォルダ** スナップエフェクター設定(P.99)で指定したフォルダを、作成日の古い順に表示。

クロスフェードを
設定する

クロスフェードを
設定する

- ① **する / しない** を選ぶ

録音曲再生レ
ベル自動調整
を設定する

- ① **する / しない** を選ぶ

サビスキャン
(P.68)
の再生時間を
調整する

- ① **< >** で調整する
●調整範囲:
20秒~
60秒

お知らせ

- サビの開始が曲の終わり近くの場合は、サビスキャンは設定した時間より短くなります。

録音の
音質を選ぶ
(CD録音のみ)

音質を重視して録音するとき **音質優先**
標準の音質で録音するとき **標準**

- 音質優先**で録音すると、**標準**よりも録音できる曲数が減ります。
- CD録音中や曲調解析中は変更できません。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

オーディオメニューから (P.62)



- Bluetooth Audio 画面を表示

設定

BLUETOOTH Audio 設定画面



お知らせ

- 本書では、Bluetooth Audio 機器の操作を、docomo P-01A を例に説明しています。
- 操作方法は機器によって異なります。詳しくは、Bluetooth Audio 機器の説明書をご覧ください。
- Bluetooth Audio とハンズフリーで接続する機器が異なる場合、下記の制限があります。
 - Bluetooth Audio とハンズフリーの同時接続はできません。
 - オーディオが Bluetooth Audio 以外の状態で本機の電源を切った場合は、次回起動時に本機と Bluetooth Audio 機器は自動的に接続されません。
- Bluetooth パスキーを変更したいとき (P.106)

Bluetooth Audio 機器を本機に登録する (5台まで)

本機側の操作



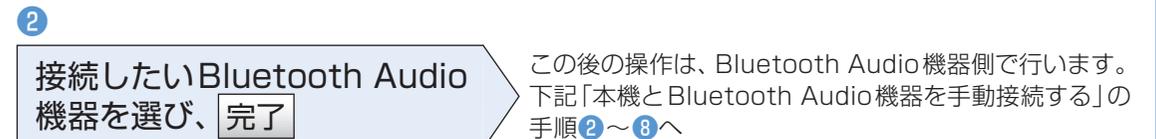
Bluetooth Audio 機器側の操作



お願い

- 本機に登録完了メッセージが表示されるまで、本機を操作したり、電源を切らないでください。

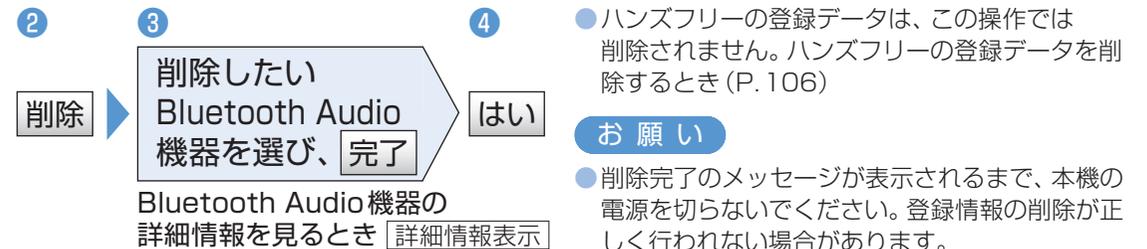
接続する Bluetooth Audio 機器を変更する



- 接続中の Bluetooth Audio 機器には、**BLUETOOTH** と表示されます。Bluetooth Audio 機器の詳細情報を見るとき [詳細情報表示](#)

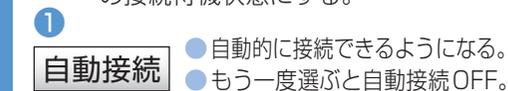
Bluetooth Audio の登録データを削除する

Bluetooth Audio の登録データを削除すると、元に戻せません。(再度登録が必要になります)データ削除は、十分確認のうえ行ってください。



本機と Bluetooth Audio 機器を自動接続する

準備: Bluetooth Audio 機器をオーディオの接続待機状態にする。



お知らせ

- Bluetooth Audio 機器を接続した状態で本機の電源を切ると、次回起動時に自動的に接続を始めます。
- Bluetooth Audio 機器が自動接続機能に対応していない場合ご利用できません。手動で接続してください。(下記)

本機と Bluetooth Audio 機器を手動接続する

本機側の操作



この後の操作は、Bluetooth Audio 機器側で行います。

Bluetooth Audio 機器側の操作



- 本機と Bluetooth Audio 機器が接続されます。

① Bluetooth Audioに切り換える オーディオメニューから (P.62)



- オーディオをBluetooth Audioに切り換えると、本機はBluetooth Audio機器との接続を自動的に開始します。
(Bluetooth Audio機器が自動接続に対応していて、自動接続をONに設定している場合)
- 接続されない場合は、「手動接続」を行ってください。(P.78「本機とBluetooth Audioを手動接続する」)

② Bluetooth Audio機器側で 曲を選び、再生する

(例: ミュージックプレーヤー)

- ① **MENU** 押す
- ② 「MUSIC」選ぶ
- ③ 「ミュージックプレーヤー」選ぶ
 - ・前回再生した曲の情報がある場合
自動的に再生が開始されます。
曲を変更したいとき
手順④へ
 - ・前回再生した曲の情報がない場合
手順⑤へ
- ④ **OK** を押し、
「プレーヤーメニュー」を選ぶ
- ⑤ 再生する項目を選ぶ
- ⑥ 再生する曲を選ぶ
 - ・選んだ曲を再生します。

■ Bluetooth Audioの基本操作 Bluetooth Audio画面

- 曲を頭出し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)
- タッチし続けている間、早送り・早戻し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」押し続ける)



お知らせ

- docomo P-01Aでは、早送り・早戻しはできません。
- 接続するBluetooth Audio機器によっては、本機から再生/一時停止、早送り・早戻し、頭出しができない場合があります。そのときは、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- iモーションの音声も再生できます。iモーションプレーヤーから再生してください。

準備:

SD-Audioが録音されたSDメモリーカードを本機に入れる。

- SD-Audioを録音するには、別売のSD JukeboxまたはSDオーディオ対応ミニコンポ(D-dockなど)やHDDレコーダー(ディーガなど)が必要です。
- ファイル形式については(P.150)

オーディオメニュー から (P.62)



■ SD-Audioの 基本操作

曲を頭出し
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)

- 早送り・早戻しはできません。



選曲方法を選んで再生
SD-Audio設定画面を表示

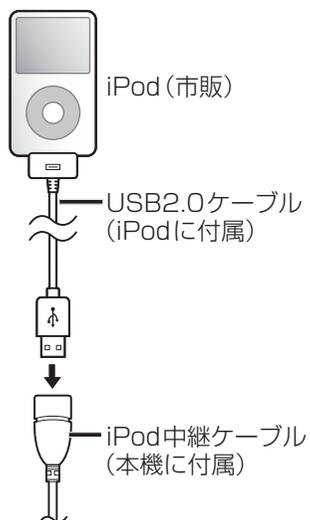
選曲方法を選んで再生する

- ① 選曲する
 - ② 選曲方法を選ぶ
 - 再生中リストから選ぶ
再生中リスト ▶ 曲を選ぶ
全曲を再生する
全曲再生
 - プレイリストから探す
プレイリスト ▶ プレイリストを選ぶ*1 ▶ 曲を選ぶ
- *1 「再生▶」を選ぶと、選んだプレイリストの先頭から再生。
- 再生中にプレイリストを頭出しするとき
(リモコン→「**⏮**」「**⏭**」)

条件を選んで再生する

- ① 設定
 - ② 再生する条件を選ぶ
 - 条件は1つしか選べません。
 - 繰り返し再生する(リピート)
 - 全曲を繰り返し再生*2 **すべて**
 - 再生中の曲を繰り返し再生 **1曲**
 - 順不同に再生する(ランダム)
 - 全曲を順不同に再生*2 **すべて**
 - 曲を探す(スキャン)
 - 各曲を約10秒ずつ再生し、1周すると、元の曲の先頭に戻ります。
 - 全曲をスキャン*2 **すべて**
- *2 プレイリスト再生中は、再生中のプレイリスト内の全曲が対象となります。

iPodを接続する



- 接続中は、iPod本体では操作できません。
- 本機と接続中は、iPodは充電されます。
- iPhoneも同様にして接続できます。

オーディオメニューから (P.62)



■ iPodの基本操作



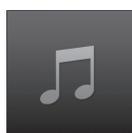
一時停止する
(タッチ操作のみ)
● 一時停止中に再度選ぶと、通常の再生に戻る。

選曲方法を選んで再生
iPod設定画面を表示

曲を頭出し (リモコン→「◀◀」「▶▶」)
● タッチし続けている間、早送り・早戻し (リモコン→「◀◀」「▶▶」押し続ける)

アルバムアートワーク

- アルバムアートワーク表示サイズは、iPodの仕様により異なります。
- 以下の場合には下記の画像が表示されます。



- ・接続したiPod内にアルバムアートワークがない。
- ・アルバムアートワーク取得中。
- ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している。(P.155)

お知らせ

- 接続可能なiPodおよびiPod再生時の制限について (P.155)
- 本機はiPhone 3Gにも対応しています。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お願い

- iPod中継ケーブルにiPod以外のUSB機器を接続しないでください。
- 本機と接続するときは、iPodのアクセサリ(リモコンやヘッドフォンなど)を接続しないでください。正しく動作しないおそれがあります。
- オーディオがiPodのときに、iPodを着脱しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。
- 運転中にiPodが動かないように、ホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACCをOFFにした後は、必ずiPodを外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 接続するiPodの説明書もご覧ください。

選曲方法を選んで再生する

1 選曲する

2 選曲方法を選ぶ

再生中の曲／ポッドキャストのエピソードのリストから選ぶ

再生中リスト ▶ 曲／エピソードを選ぶ

アーティストから探す

アーティスト ▶ アーティストを選ぶ*1 ▶ アルバムを選ぶ*2 ▶ 曲を選ぶ

※1 再生▶を選ぶと、選んだアーティストの先頭から再生

ALLを選ぶと、iPod内の全アルバムリストを表示 ▶

アルバムを選ぶ*3 ▶ 曲を選ぶ

※2 再生▶を選ぶと、選んだアルバムの先頭から再生

ALLを選ぶと、選んだアーティストの曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

※3 ALLを選ぶと、iPod内の全曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

アルバムから探す

アルバム ▶ アルバムを選ぶ*4 ▶ 曲を選ぶ

※4 再生▶を選ぶと、選んだアルバムの先頭から再生

ALLを選ぶと、iPod内の全曲リストを表示 ▶ 曲を選ぶ

プレイリストから探す

プレイリスト ▶ プレイリストを選ぶ*5 ▶ 曲を選ぶ

※5 再生▶を選ぶと、選んだプレイリストの先頭から再生

全曲のリストから探す

曲 ▶ 曲を選ぶ

Podcast*6からエピソードを探す

Podcast ▶ 番組を選ぶ*7 ▶ エピソードを選ぶ

※6 ポッドキャスト (Podcast) とは、インターネット上で配信されている番組などのことです。

ビデオポッドキャストは音声のみ再生され、映像の表示はできません。

※7 再生▶を選ぶと、選んだ番組の先頭から再生

条件を選んで再生する

1 設定

2 再生する条件を選ぶ

● iPod設定画面を表示

● 条件は1つしか選べません。

繰り返し再生する (リピート)

● 全曲*8を繰り返す [すべて]

● 再生中の1曲を繰り返す [1曲]

順不同に再生する (シャッフル)

● 全曲*8を曲単位で再生する [曲]

● 全曲*8をアルバム単位で再生する [アルバム]

アルバム内の曲は順不同に再生されません。

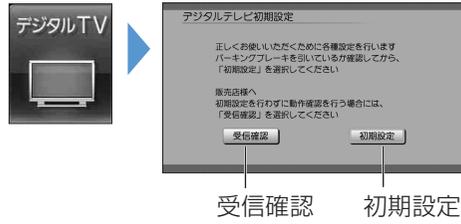
※8 再生中の曲やエピソードの選曲方法により異なります。

(例: [アーティスト]で選曲した場合は、そのアーティストの全曲が対象となります)

お知らせ

- シャッフル方法は、iPodの仕様に基づきます。

オーディオメニューから (P.62)



- 初めて「デジタルTV」に切り換えたときは、自動でデジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

お知らせ

- 販売店で、初期設定をせずに動作確認を行う場合には、「受信確認」を選んでください。
- 受信確認中は、◀▶で物理チャンネルを変更できます。

■初期設定を変更・再確認するとき

デジタルテレビ初期設定画面は、一度設定すると、システムの初期化 (P.130) をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記のメニューから設定してください。

- 郵便番号設定
情報/設定メニューの [システム設定] ▶ [郵便番号] (P.93)
- 県域設定
情報/設定メニューの [システム設定] ▶ [県域] (P.93)
- チャンネル
ホームモード (P.90) に切り換えて、
情報/設定メニューの [システム設定] ▶ [ホームチャンネル] (P.90)
- B-CASカードテスト
情報/設定メニューの [B-CASカード] (P.93)

郵便番号
を設定する

1

初期設定 ▶

2

お住まいの地域の郵便
番号を入力し 決定

(リモコン→「▲」「▼」: 数字を変更、リモコン→「◀」「▶」: カーソルの移動、
リモコン→「決定」: 決定)
(リモコンの数字キーでも入力できます。)

都道府県
を選ぶ
(県域設定)

3

お住まいの都道府県を選ぶ ▶

(リモコン→「◀」「▶」: 地域を選ぶ、
リモコン→「▲」「▼」: 都道府県を選ぶ、
リモコン→「決定」: 決定)

4

次へ

(リモコン→「決定」)

伊豆、小笠原、南西諸島鹿児島県地域のとき

- 伊豆、小笠原諸島地域 [沖縄・その他の島部] ▶ [東京都島部]
- 南西諸島鹿児島県地域 [沖縄・その他の島部] ▶ [鹿児島県島部]

ホームモードの
チャンネル
を設定する

5

地域を確認して、
決定

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示される。
- 地域によって、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)

地域を変更するとき

◀▶で選ぶ
(リモコン→「◀」「▶」)

6

各チャンネルの放送局
を確認して 決定

チャンネルを修正するとき

▲▼で放送局を選ぶ

(リモコン→「▲」「▼」)

◀▶でチャンネル番号を選ぶ

(リモコン→「◀」「▶」)

●自宅のディーガに遠隔録画する場合 (P.114) は、チャンネルを修正しないでください。

CN-HX900D

お知らせ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に、再スキャン (P.90) してください。

B-CAS
カード
テスト
をする

7

B-CASカードが
正しく入っていること
を確認して テスト

- B-CASカード (P.15)

8

テスト結果を
確認する

- OK (正常に動作している) のとき 次へ
- NG (正常に動作していない) のとき しいえ

手順⑨の後、右記の手順で再度
B-CASカードテストを行う。

9

終了

■B-CASカードのテスト結果がNGのとき

- ①車のエンジンを切る (ACC OFF)
- ②B-CASカードを取り出す
- ③B-CASカードを正しく挿入する
- ④車のエンジンをかける (ACC ON)
- ⑤B-CASカードのテストをする (P.93)

チャンネル設定画面



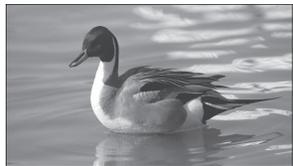
チャンネル番号
(リモコンの数字キーで
選局できる番号)

同じ系列局で受信できるチャンネル
(複数ある場合があります)。
ワンセグは、青色で表示されます。

オーディオメニューから
(P.62)



デジタルTV画面



デジタルTVの 基本操作

画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

Dimora録画 (P.114)
CN-HX900D



チャンネルリスト
番組内容を見る
番組表を見る

- 約10秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

番組表について

- 電源を入れた直後は、表示されるまで約1分かかります。
- 地上デジタル放送は8日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されないときは、その局を選ぶと表示されます。(数分かかります)

順送り チャンネルを選ぶ

- ① (リモコン→「」「」)

- 1チャンネルずつ切り換わる。
 - リモコンの数字キーでも選べます。*
- * 同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)がある場合、続けて、数字キーを押すと枝番号が切り換わります。

リストから チャンネルを選ぶ

- ① 画面をタッチ

② リストから チャンネルを選ぶ

- リモコンの数字キーでも選べます。
- 選局パネルを消すとき
「終了」(リモコン→「戻る」)

■ 1放送局で複数番組が放送されているとき

同じチャンネルを続けてタッチすると、番組が切り換わる。

- 地域によっては、同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)が登録されることがあります。
例: 「NHK総合・大阪」、「NHK総合・京都」が1チャンネルに登録されている場合など

お知らせ

- 1つの放送局が同じ時間帯に異なる番組を放送している場合、チャンネル番号が一番小さいチャンネルしか選べないことがあります。

番組表を 見る

- ① 画面をタッチ
- ② 番組表
(リモコン→「番組表」
デジタルTV画面からでも表示
されます)

- 選局パネルに戻るとき
「選局」
- 番組内容を見るとき
内容を見たい番組を選び「番組内容」
または、番組表の番組を直接タッチ。
デジタルTV画面でリモコンの「ビュー」
を押しても見ている番組内容が表示されます。
(P.87「番組内容の見方」)
- 番組表を拡大/縮小するとき
「拡大」/「縮小」
(リモコン→拡大「緑」、縮小「黄」)

番組表 の見方

● 別の日の番組表を見るとき 「前日」/「翌日」
(リモコン→前日「青」、翌日「赤」)

● チャンネルを選ぶとき
「チャンネル」/「チャンネル」
(リモコンの数字キーでも選べます)

「」(ホームモード)または
「」(おでかけモード)を
表示

番組表

地上D 番組表 前日 1日 翌日 終了

12月31日(土) 23:35

地上1-101	地上1-102	地上1-103
00 ニュース	00 スポーツ	00 スタジオ
23 時	40 イベント103	
0 時	00 定時・総合	00 芸能・ワイドシ
0 時	40 イベント115	30 解説
		30 イベント

● 時間帯を選ぶとき
「▲時間」/「▼時間」

● 選択中の番組(黄枠)

● 緑線部分
放送時間の短い番組
があります。
選ぶと番組を表示

番組内容の見方

番組のタイトル

番組内容

● 今放送中の番組を見るとき
「今すぐ見る」
(リモコン→「決定」)

● 番組内容画面/属性画面
(詳細な情報)を切り換えるとき
「内容」/「属性」
(リモコン→内容「青」、属性「赤」)

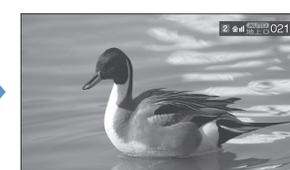
見ている番組の タイトルなどを 表示する (リモコン操作のみ)

- ① 番組を見ているときに、
リモコンの「DISPLAY」

表示を消すとき
再度「DISPLAY」を押す



- 番組の情報が表示され、約5秒後にチャンネル表示に切り換わる。



- 受信状態を確認できます。

データ放送を見る

ご覧になる前に、番組内容の属性画面(P.87)で、データ放送があるか確認してください。

選局パネルから (P.86)

操作 (タッチ操作のみ)



カーソルパネル



データ放送の操作

- 項目を選ぶとき
◀ ▶ ▼ ▲ で選び、**決定**
- 項目を選ぶとき
青 ◻ 赤 ◻ 緑 ◻ 黄 ◻
(リモコン→「青」「赤」「緑」「黄」)
- パネルを消去するとき
消去 (タッチ操作のみ)
- 再度パネルを表示させるとき
選局パネルを表示
操作
- 数字を入力するとき **数字** ▶
1 ~ 12 で項目を選ぶ
(リモコン→「1」~「12#」)
(カーソルパネルに戻るときは、**操作** を選ぶ)
- パネルを左に移動するとき
◀ **位置** (タッチ操作のみ)
- 数字を入力するとき **数字** ▶
1 ~ 12 で項目を選ぶ
(リモコン→「1」~「12#」)
(カーソルパネルに戻るときは、**操作** を選ぶ)

■ 文字を入力するとき



画面キーボードで文字を入力する

- 文字入力のしかた (P.23)
- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示されたときは、画面の指示に従ってください。

■ データ放送を消すとき

操作 を選ぶ
(リモコン→「**操作**」)

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかることがあります。
- デジタルTV画面でリモコンの「**操作**」を押してもデータ放送が表示されません。(カーソルパネルや数字パネルは表示されません。)
- カーソルパネルや数字パネルを表示中にリモコン操作を行うと、カーソルパネルや数字パネルは消去されます。

緊急警報放送(EWS)を見る

■ 緊急警報放送(EWS)とは

大規模災害など緊急の出来事が発生した場合に放送局より情報を送信し、視聴者にいち早く知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■ 緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



- 一度選局された緊急警報放送のチャンネルは、放送を終了するか、車のエンジンを切って(ACC OFF)、再度エンジンをかける(ACC ON)までは自動的に選局されません。
- 緊急警報放送が終了しても、そのままデジタルTV画面が表示されます。元のオーディオには戻りません。
- 視聴中のデジタルテレビのチャンネル以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 走行中は、緊急警報放送を表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、緊急警報放送に切り換わりません。
GN-HX900D
GN-HW880D

■ ナビゲーション連動について

緊急警報放送中に現在地画面に切り換えると、自車から最寄の広域避難場所を検索できます。

緊急放送を表示中に



1

現在地

(リモコン→「現在地」)



- 現在地画面が表示されます。

2

はい



- 広域避難場所を検索し、自車から最寄の広域避難場所の地図が表示されます。
- 広域避難場所を表示させると、表示中のランドマークが解除されます。再度表示させるには、ランドマークの設定をしてください。(P.26)

3

広域避難場所を確認する

災害時は、安全な場所に駐車し、歩いて広域避難場所に避難してください。自動車避難すると、事故・渋滞の原因になるばかりでなく、緊急車両の通行の妨げになります。

広域避難場所は、大地震の大火災時に一時的に避難する場所です。表示される場所が最適な避難場所とは限りませんので、実際の状況に応じて行動してください。